

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性  
(平成23年2月時点)

事業番号	⑥-2	事業名	博物館管理			
所管	市長公室		博物館		学芸	課
<b>1. みんなの審査会でいただいた主な意見等</b>						
(検討委員)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展の方が短期間で集客力があるが、専用の特別展会場がないためスムーズに開催できないという問題がある。</li> <li>・外部有識者の意見を企画に反映したり、モニタリングやアンケート調査を充実させる等の方策を考える必要がある。</li> <li>・学校の教科書で習う堺の印象と旧市街の現状は異なるところもあり、館を更新するなら景色のよい大仙公園を核に整備し、歴史都市堺のイメージ形成を図る。</li> <li>・サポーター制度(ファンクラブ)、ボランティアガイドの採用、年間パスポート等の導入など少ない経費で入場者を増やす方策は検討できないか。</li> </ul>						
(市民審査員)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年記念事業として、大仙公園の中で特別展企画展を開催可能な場所を考えてみる。</li> <li>・堺の歴史PR不足。展示物を手で触れる(ガラスの中のものを見るだけではなく)発掘している現場等も子どもたちに興味を持たせるような努力する。</li> <li>・堺市の歴史にふさわしい規模の博物館にするべき。見に行きたくなる展示にしないとダメである。拡充すべき。</li> <li>・webページの充実。</li> <li>・博物館の基本的目的は、歴史資料を調査し、それを市民に認知させることだと思うので入館者数を向上させることよりも別方法を考えても良いと思う。歴史資料をソフト的にアーカイブしてインターネット上で公開する仕組みを作った方が市民の啓発になるのではないか。</li> <li>・目玉となる企画を定期的に行い、出来れば他施設を含めて実施する(例えば仁徳陵ウォークラリーとか)。</li> <li>・何を開催しているか伝わってこないし、一般の市民にもどういう展示を希望するか聞くのもいいと思う。</li> </ul>						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	1人	5人	8人	2人	0人	
検討委員(参考)	0人	1人	3人	1人	0人	
<b>2. 市の方向性</b>	改善(平成23年度中に見直しの検討を行い、平成24年度以降に見直しを実施)					
<b>3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化都市を推進する堺市の中核施設として、ユネスコの国内初の無形遺産研究センターの活動を支援する。</li> <li>・ボランティア活動等と連携し、情報発信の強化を図るとともに、百舌鳥古墳群の世界遺産登録に向けた取組を進める中で、博物館のあり方を検討していく。</li> </ul>						
<b>4. 平成23年度予算への反映状況</b>						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	141,161千円	113,346千円	▲27,815千円			
<b>5. 今後の取組予定</b>						
平成22年度下半期	宮内庁(陵墓課)所蔵の埴輪等による特別企画展(11月)、堺市文化課・新聞社等との共催によるミュシャ生誕150年記念展等を開催(2月)する。					
平成23年度	博物館のあり方を検討する。					
平成24年度以降	博物館のあり方を検討する。					